

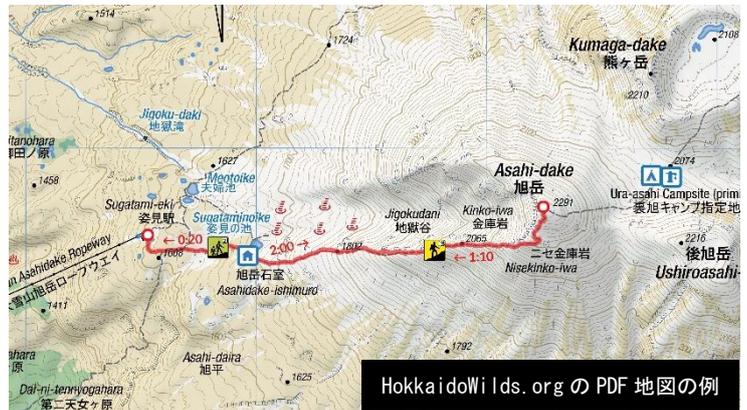
北海道インバウンド旅行者の山岳安全に向けた英語表記地形図(紙地図)の開発

HokkaidoWilds.org (代表)トムソン ロバート

キーワード

紙地図、英語表記、山岳安全、QGIS

北海道の大自然を求めて、北海道への海外インバウンド観光客数が急増している。特に登山者や、世界トップのパウダースノーを求めて欧米豪新の冒険旅行者が顕著に増えており、道内のアドベンチャーツーリズムが活性化されている一方、山岳地帯の外国人遭難者の増加が課題となっている。また、欧米豪新のアドベンチャーツーリストの特徴の一つとして、インターネットで情報収集して、「旅行」よりも「旅」、「体験」よりも「探検」、という理念で北海道に来る傾向が強い。



HokkaidoWilds.org の PDF 地図の例

こうしたハードな冒険旅行を求む外国人旅行者に欠かせないのは、山行に安全な自己判断のための情報(高精度の地形図、天気予報、GPS ファイルなど)である。日本語だと国土地理院発行の紙地形図をはじめ、下調べに活用できる情報が豊富だが、英語の情報は極めて乏しい。そのため発表者らは、北海道のアウトドア情報を、写真や英語のルートガイドで紹介する非営利ウェブサイト HokkaidoWilds.org を 2018 年 11 月に設立した。チームメンバーにニュージーランド、イギリス、ポーランド、カナダ、国際的なチームでウェブ運用や、ルート情報の企画、取材、執筆をしている。

サイトでは国土地理院の基盤地図情報や数値地図情報を活用し、旅行者が自分で印刷して山などに携帯できる「PDF 英語表記地形図」を 2019 年 3 月から無償で提供している(2019 年 10 月から GeoPDF も提供開始)。便利な両面 A4 サイズで、表は地図面、裏はルート情報となっている。現在、バックカントリースキールート 55 本、登山道 39 本、1 日~2 週間の自転車コース 41 本、カヌールート 17 本を公開しており、随時新しいルートを取材して公開している(月間ユニーク訪問者数 8~11 千人)。

コンセプトとして、日本に渡航する前の情報収集段階で旅行者が、例として「hiking in hokkaido」を検索サイトで検索し、HokkaidoWilds.org が検索結果に表示され(<https://hokkaidowilds.org/hike>)、興味のあるルートを選択する。ルートページの情報を一通り読んだ後、PDF マップをダウンロードして印刷し、日本に持参するというイメージである。サイトから PDF をダウンロードして国内のコンビニで印刷することもでき、スマホで閲覧し、GeoPDF の場合、PDF 地図上で自分の位置も確認できる。

地図面の作成には無料のオープンソースソフトウェア「QGIS」を利用している。他の QGIS 利用者が同じスタイルで基盤地図情報を使って地図を作成するために HokkaidoWilds.org の英語表記地図に開発した諸ファイルを公開している(英語でのまとめはこちら：<https://hokw.jp/jp-shapefiles>)。裏のルート情報は inDesign でレイアウトしている。

- QGIS スタイルファイル：<http://hokw.jp/qgis-styles> (ZIP, 163kb)
- 地名種類別ツール：<https://hokw.jp/parser> (xlsx, 11kb)
- inDesign レイアウトファイル：<https://hokw.jp/in-design> (Google ドライブフォルダー)